

「TCPトリビンスプラン」車座対話の議事概要

(1) 「TCPトリビンスプラン」のうち「授業日の平準化」以外の施策の現状と課題について

(主な内容)

(1) 子どもの「確かな学力」を保障する環境づくり

イ 快適な学習環境の整備

①全小中学校エアコン完備

- ・ エアコンがあることにより、子供も教員も集中して授業に取り組んでいると感じる。
- ・ 欲を言えば体育館にもエアコンを設置して欲しい。
- ・ 給食受室に空調がないため、夏の食中毒が心配である。また、放送室にもエアコンがないため、昼の放送時などは子供が大変である。ここにもエアコンが欲しい。
- ・ 給食センターの調理場にもエアコンがなく、過酷な条件で調理をしている。食品衛生上、また調理師の健康上、エアコンの設置をお願いしたい。

②トイレ改修 (洋式化)

- ・ トイレの臭いが教室付近までくることがあったため、学習環境として、また、健康・衛生上もよくない面があった。洋式化への改修はありがたい。
- ・ 改修中は使用できない箇所が出てくるが、今後どのようなスケジュールで進んでいくのか分からない。改修のスケジュールを示して欲しい。
- ・ 改修の進捗によっては、トイレの使用に支障をきたすようなこともあるかもしれない。その場合には仮設トイレの設置も検討していただきたい。
- ・ トリビンスプランの中で『子どもの「確かな学力」を保障する環境づくり』に位置付けられているが、トイレの改修がどう「確かな学力」に結び付くのか不明。こじ付けのように感じる。
- ・ 教員はトイレ改修を望んで町にお願いしたわけではない。ト

イレ改修をする前に、ICT 機器の整備を優先するべきである。

### ③教室照明の LED 化

- ・ 明るい教室は子供の健康面から大変よいためありがたい。
- ・ トリビンスプランの中で『子どもの「確かな学力」を保障する環境づくり』に位置付けられているが、教室照明の LED 化がどう「確かな学力」に結び付くのか不明。こじ付けのように感じる。

## ウ 外国語・国際理解教育の推進

(小学校)

- ・ ALT が各学校に 1 名配置されていることにより、打ち合わせの時間を多く持てている。また、子供も ALT が常時いることで自分の学校の先生という意識が芽生え、普段の生活でも良好な関係が築けている。
- ・ ALT の人柄もよく、授業に前向きに関わってくれているため、外国語活動の充実につながっていると実感している。

(中学校)

- ・ ALT がいることで、英語の授業の充実に役立っている。
- ・ 小学校の ALT も空き時間は中学校にくるという勤務形態となっているが、ALT 4 人とのやりとりが必要となり、打ち合わせや ALT の時間調整で返って負担と感ずることがある。

## エ 「確かな学力」の育成を軸とした幼保・小中一貫教育の推進

- ・ 特になし。

## オ 調査結果に基づいた授業実践

(小学校)

- ・ 客観的に子供の実態や自身の指導の実態を測ることができる貴重な機会であるため、小学校としてはありがたい。
- ・ ①詳細に分析する時間的な余裕がない。②調査結果としてたくさんのデータが示され、どう分析していいか分からない。③学校での分析となるため、対応策がどうしても自分たちのできる範囲のことしか思いつかずマンネリ化してしまう。という大

きく3つの理由から、2回の調査結果を生かし切れていないと感じる。2回は必要ない。

- 今後の対策を練るという意味で4月の1回実施がよいのではないか。
- 自身の指導の結果を振り返るということや、次年度へつなげるという意味で、11月の1回実施がよいのではないか。
- 4月の意図や11月の意図も分かるので2回の実施でもいいのではないか。
- 結果が2か月後にやってくるので、間延びしてしまい、結果を受けて子供や保護者の意識を改善するという事まで至っていない。費用対効果の面でも考える必要がある。

#### (中学校)

- 中学校は教科担任制であり、テストの返却がテスト科目の教員とは限らないため、その場合、ただ返すだけになってしまうこともある。子供に上手に返せないため、テスト自体の効果も感じられず多忙感につながってしまっている。
- 県の学力調査や期末テストもあり、テスト自体が多いため、一つ一つの分析が疎かとなってしまう。中間テストの復活も検討しているため、吉田町学力調査自体はなくてもよい。
- 中学校3年生の11月のテストは結果の返却が2月であり、それこそ生徒にとっても生かせないものとなっている。不要ではないか。
- 分析の時間的余裕のなさ、分析する教員のスキルのなさ、マンネリ化する対応策という点から考えても、多額の費用を投資してまで行うものではない。
- 中学校の教員が望んでいない以上、止めてもらいたい。
- 出題傾向や問題の質が、全国学力・学習状況調査や県の学力調査と大きく違うため、子供も教員も戸惑いを感じる。ベネッセの問題が学習指導要領に示されている目標や内容、付けたい力と合致しているのか疑問に思う。中間テストを復活し、自分たちで問題を作った方が、よい問題を作ることができる。したがって、吉田町学力調査は必要ない。
- 吉田町学力調査を行うと、その日1日テストで終わってしま

う。特に、週に1時間しかない教科などがそれによってつぶれてしまうと、成績が付けられなくなるなどの支障がでる。吉田町学力調査より日々の授業を行いたい。

#### カ 補充学習・発展学習の充実

- ・ 支援員の配置など、他市町より充実した体制を敷いていただいていることは大変ありがたい。
- ・ 支援員は単独での授業がむずかしいため、町で単独で授業ができる人を雇用してもらいたい。
- ・ 公設学習塾は大変ありがたい。学校における指導の充実のことも考えると、公設学習塾でどういった内容の指導が行われているのかということを経験者にも教えてもらいたい。
- ・ 公設学習塾が平日開催となったが学校を使用している。学校を使用すると緊急のことがあれば、教員が対応しなければならないため学校ではない場所での実施をお願いしたい。

#### キ 個に応じた支援の充実

(特別支援教育関連)

- ・ 国の決めていることなので仕方がない部分もあるが、困難さの程度や学年の違う子供が混在しているため、特別支援学級において、子供8人に対して1人の教員の配置では非常に苦しい。手厚い人の配置をお願いしたい。
- ・ 特別支援教育支援員は大変ありがたいが、勤務が12時までとなっている。そうすると午後の活動が制限されたり、午後に何か起こった場合には、管理職に対応をお願いしたりしなければならない場面もある。支援員の勤務時間の増や、人員の増をお願いしたい。
- ・ 学校には来たいが教室には入れないという生徒もいる。以前、中学校にあった適応指導教室を復活して欲しい。
- ・ 中央小学校にも通級指導教室を開設してほしい。

(外国人児童生徒関連)

- ・ 日本語が話せない子供が入学してくるケースが増えている。通訳や日本語指導体制の充実をお願いしたい。

- ・ 外国人児童生徒については、企業の通訳との連携や、タブレットを使用した翻訳などの手立ても考えられる。

## ク プログラミング教育の充実

- ・ 新学習指導要領の全面実施にともないやらなければならないということは認識しているが、そもそもなぜやるのかや、どのように指導するのかというところについては、まだまだ勉強不足である。教育委員会で研修会や実践事例の紹介などをお願いしたい。

## (2) 教職員が授業に専念できる環境づくり

### イ 校務の支援

#### ① 学校事務の効率化（職員室のオフィス化を含む）

- ・ EDUCOM の更新は大変ありがたい。処理速度が速くなり事務の効率化が図られるとともに、ペーパーレス化が進むのではないかと期待している。
- ・ 処理速度の遅い EDUCOM をなぜ採用するのか。EDUCOM 導入の経緯を説明してもらいたい。
- ・ 職員のパソコンがインターネットにつながらない。他市町はつながるといふ現状もあり、不便を感じている。職員のパソコンがインターネットにつながれば、教材準備の時間の短縮にもつながる。
- ・ 校長親展メールなども、メールアドレスが一つしかないため共通のメールに送られてくる。秘密文書等もあるため、校長用のメールアドレスが必要である。
- ・ 県として共同学校事務室の設置を進めている。当町も学校事務同士が協力して事務を行っていける体制を組むため設置をお願いしたい。

#### ② 校務アシスタントの配置

- ・ 校務アシスタントが教員でなくてもできる仕事をしてくれるため、その分でできた時間を自身の仕事に充てることできている。
- ・ 校務アシスタントに仕事を依頼するためには、仕事を計画的

に行う必要があるため、教員自身に見通しをもった仕事をする意識が芽生えてきていると感じる。

- ・ 校務アシスタントに何が頼めて、何が頼めないのか整理をしてほしい。判断に迷う場合やそれは頼めないと言われる場合があった。
- ・ 忙しそうにしているので頼みにくい場合もあるし、頼みたい夕方にはもう帰られてしまっている場合もある。時間設定や人員増なども検討してもらいたい。

### ③部活動、課外活動指導員配置

- ・ 部活動指導員の配置は全部活動に配置されるのか。また、部活動ガイドラインにおいて、ある程度活動の時間が適正なものとなるようにしていただきたい。

## ウ 教職員研修体制の充実

### ①町全体教職員研修会の実施

- ・ 町の教員が一堂に会して行う貴重な研修であるが、今年度のような内容であれば、授業を優先したい。
- ・ 特別支援教育は全体と別会場での開催であったため、全体のことが分からず、その後の校内研修で戸惑う場面もあった。一緒に開催することも検討して欲しい。

## (3) 保護者の教育ニーズに応じた環境づくり

### ア 安心で安全な教育環境の整備

#### ①学校給食の実施日の拡張

- ・ 様々な家庭があり、小学校では給食でない日は落ち着かなくなってしまう児童もいる。給食実施日が多いことは児童が安定して安心して学校生活を送る上でも重要であると考えます。
- ・ 中学校では、授業の一環としてお弁当を作ってきてほしいということを行っていたが、それが出来にくくなってしまった。保護者から惜しむ声もあるため配慮して欲しい。
- ・ 夏の暑さや給食調理場のメンテナンス期間も考えると、今年度の実施回数が限界である。

## ②「家庭学習の手引き」の配布

- ・ 特になし

## イ 放課後の子どもの居場所づくり

### ①公設学習塾の実施（再掲）

- ・ 公設学習塾は大変ありがたい。学校における指導の充実のことも考えると、公設学習塾でどういった内容の指導が行われているのかということを経員にも教えてもらいたい。
- ・ 公設学習塾が平日開催となったが学校を使用している。学校を使用すると緊急のことがあれば、教員が対応しなければならなくなるため学校ではない場所での実施をお願いしたい。

### ②放課後補充学習の実施

- ・ 特になし

### ③活動場所確保、見守り委員の配置（放課後児童クラブの拡充を含む）

- ・ 中央小の4時間日に合わせて、放課後こども教室を実施してくださっているため、大変ありがたい。
- ・ 放課後児童クラブの拡充はありがたいと思うが、そこで宿題などの勉強をやっているという前提で、家庭では宿題をやることや勉強をやることを強く言わない状況もあるのではないかと不安に思う。

## ウ 問題行動のない落ち着いた教育環境の実現（相談体制の充実）

### ①生徒指導専任教員の配置

- ・ 生徒指導の関係で、学校が教育委員会に呼ばれることが多いと感じる。（学校で相談したい時に教育委員会にいらっているということが数回あった。）そうしたところも配慮していただきたい。
- ・ 教員の増員をしてもらえると、生徒指導に専念することができるため、人の配置をお願いしたい。

## ②SC、SSW、相談員の各校配置

- ・ SC、SSWの方は大変ありがたく、よく相談にのってもらっている。各校の勤務時間がもっと長いとより丁寧な指導につながったり、より多くの子供の悩みを受け取ったりすることができる。拡充をお願いしたい。

## (2)「TCPトリビンスプラン」のうち「授業日の平準化」の現状と課題について

(主な内容)

### ア 授業日の平準化

#### ①授業日数基本220日（平成32年度完全実施）

(小学校・中学校共通)

- ・ プラン上、平準化には「基本220日（平成32年度完全実施）」と書かれているため、説明を受ければ分かるが、どうしても「220日」が目的のような捉えをしてしまう。日数を削除するなどの表現の工夫が必要だと考える。
- ・ 小学校と中学校とでは、様々な違いがあるため、これらを一緒という前提でプランを組み立てると弊害が生じる。表記を分けるなど、小学校と中学校とを別建てでプランを考えてもらいたい。

(小学校)

- ・ 今年度やってみて、業務時間内に会議を設定できたり、放課後に余裕の時間が生まれたりして、平準化の効果を実感している。
- ・ 近隣市町では、6時間日が週2～3日あり、エアコンがない学校もあると聞く。そう考えると当町の選択も妥当な選択の一つであると考えている。
- ・ 平準化の効果は実感しているが、かといってこれ以上授業日を増やすことがよいとも思わない。来年度以降は、今年度を基準（上限）として、暦の関係などに配慮しながら教育課程を編成していくというのがよいのではないか。
- ・ 登下校中の熱中症が心配される。今年度も熱中症と思われる症状で体調不良を訴えた児童がいた。



- ・ 夏の暑さのため、体育館での体育や休み時間での外遊びを控えた日もあった。

#### (中学校)

- ・ 中学校では夏休みに中体連の大会や高校の1日体験入学があり、夏休みを授業日にするのにも限界がある。小学校と同様に考えるのは難しい。
- ・ 平準化をして授業の終わりが早まったとしても、結局部活動に時間を奪われてしまうため、実施するとしても部活動の改革とセットである。
- ・ 教科担任制であるため、中学校の教員は今でも空き時間がある。この時間で丸付けやノートチェックなどを行っているため、平準化をすることで、この空き時間がなくなり全時間授業（満塁）となると返って多忙である。
- ・ 中学校では、部活動があることや教科担任制であることから、平準化により、教員の多忙化が解消され、学力の向上につながるという想像ができない。
- ・ 生徒が学校に来て授業を行うということは、朝の会、帰りの会、給食の準備などの時間も付いてくることとなる。単純に授業時間のみが増えるだけではなく、そういった時間も日々教員の仕事として増えるため、授業日数を増やすことは教員の多忙化につながる。

#### (養護教諭・栄養教諭)

- ・ 子供の健康のことを考えると、夏の暑い中、何日も登下校を繰り返すことは心配である。
- ・ 給食の安全のことを考えても、現在の食缶や配送のコンテナ、各学校の給食受室の設備を前提とすると、これ以上、夏に給食を提供することは危険。
- ・ 一人職であるため、平日は学校を出ることが難しい。研修のことを考えれば夏休みは重要であり、異動があった場合には、春休みが重要となる。一定期間は確保したい。

(事務職員)

- ・ 事務職は、夏休みであろうがなかろうが働き方は変わらないため、授業日数は何日でも関係ない。
- ・ 春休みが繁忙期であるため、あってもなくても同じようなものである。

## ②学校閉庁日の設定

- ・ 学校閉庁日の設定は日直もなくありがたい。
- ・ 学校閉庁日の前後に役場から依頼があり、出勤しなければならぬことがあった。少なくとも役場内では学校が閉庁であるため対応ができないことを共有してもらいたい。

## (3) アクティブラーニングの視点からの授業改善を求める新学習指導要領への対応及び働き方改革(多忙化解消)を進める上で、学校としての課題や要望について

(主な内容)

### ①ICT機器の充実

- ・ パソコンがインターネットにつながれば、教材研究などもスムーズに行うことができたり、授業で提示する教材のバリエーションが増えたりするため、より良い授業の提供につながる。
- ・ 教材提示用セットなどの大型テレビが各教室1台ずつあると、子供たちに様々な教材を見せることができる。
- ・ wifi環境の整備をお願いしたい。現在は自前のもので対応している。

### ②教育課程編成の工夫

- ・ 入学式、卒業式の日程を学校の自由裁量で決められるようにして欲しい。
- ・ 運動会の日程を学校の自由裁量で決められるようにして欲しい。

### ③教員の多忙化解消

- ・ 授業ができる教員を追加で配置してほしい。

- ・ 小学校のリレー大会、芸能祭への参加を今年度限りで終わりにして欲しい。
- ・ 様々なコンクールへの絵画や書道作品の出品依頼を制限してほしい。
- ・ 教育委員会主催の会議を精選してほしい。
- ・ 市町対抗駅伝における教員の関わりを少なくしてほしい。
- ・ 算数・数学おもしろ講座、理科わくわく講座は教員が関わらなくてよいものとしてほしい。
- ・ 教育委員会への呼び出しを少なくしてほしい。

#### ④その他

- ・ 使用するクラスが重なっても使えるよう顕微鏡の購入や、古くなったミシンの新調など、各教科で使用する備品の購入をお願いしたい。
- ・ 用務員さんを配置してほしい。
- ・ フェアキャストの使用回数の制限を撤廃してほしい。
- ・ 外国人児童生徒への日本語指導の体制を充実してほしい。

※本対話は、録音しない前提で実施したため、担当者の筆記録をもとに議事概要を作成したものです。